第18回 こまつまちなみ景観賞

こまつまちなみ景観賞は、都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的に毎年行っています。今年度は日本遺産認定を記念し「珠玉の石部門」を新設。全68点の中から次の7点が選ばれました。

問い合わせ　まちデザイン第1課　☎24・8100

まちなみ部門

古民家カフェTree（矢崎町）

築80年の旧農家をカフェとして開放。既存資源を再活用しつつ手作りで修景し、地域景観の風情保持と魅力付けを図っています。

大杉商店（八日市町）

こまつ町家の伝統を適切に活用しつつ、新たな魅力を持った店舗として改修。商店街の街並み景観の維持と強化に寄与しています。

のしろこども園（北浅井町）

園児のにぎわいを創出する開放的な造りで、緑化された園庭を組み込むことで郊外部の景観に調和した親しみのある建築となっています。

広告部門

ゲストハウス三日市（三日市町）

小規模町家を宿泊施設に再生。木の温もりが伝わる手作り感漂う看板とロゴのデザインが、施設の内容や街並み景観に調和しています。

夜間景観部門

BRIDGE（大領中町）

端正でオシャレにデザインし、アプローチ、ガーデンテラスなどで、抑えの効いた照明計画が魅力的な夜間景観を創出しています。

NEW 珠玉の石部門

蔵（向本折町）

伝統的な構法と彫り手法を堅実に活用しつつ、小松の石文化の継承と歴史的な集落景観の維持・保全に寄与しています。

滝ケ原八幡神社（滝ケ原町）

境内全域で諸処（しょしょ）に多くの滝ケ原石を活用。重厚な滝ケ原石が生み出す趣が、地域固有の文化景観の形成に大きく寄与しています。

■講評

今年度は、小松の石文化の日本遺産認定を記念し、新たに「珠玉の石部門」を設けました。今後も、伝統的な趣と現代性が共存した厚みと奥深さのある小松市の景観が形成されていくことを、更に期待したいと思います。

選考委員長
森俊偉さん
（建築家、金沢工業大学教授）

受賞作品紹介パネル展

●2月9日（木）～16日（木）　南部公民館　●2月17日（金）～24日（金）　イオン小松店　●2月27日（月）～3月3日（金）　市役所エントランスホール　●3月6日（月）～13日（月）　JR小松駅コンコース　●3月14日（火）～21日（火）　サイエンスヒルズこまつ

おいしい情報カンヅメ「広報こまつ」つうてご活用ください。
2017年2月1日発行（毎月1日発行）■発行・編集：小松市広報秘書課
〒923-8650　石川県小松市小馬出町91
☎0761・24・8016　FAX0761・24・5563（広報広聴担当直通）
■Eメール　koho@city.komatsu.lg.jp
■ホームページアドレス　http://www.city.komatsu.lg.jp/
■携帯電話用ホームページアドレス　http://www.city.komatsu.lg.jp/m